



ご挨拶

平成28年4月1日付けで医療連携センター長に就任しました三國です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

当センターは、新患外来予約、セカンドオピニオン外来、地域連携クリティカルパス、退院支援など、よりきめ細やかなサービスを提供するために、前方支援（医療連携係）と後方支援（退院支援係）を専門とした業務を行っています。

国は、「地域完結型」の医療、「地域包括ケアシステム」の構築をめざし、機能の異なる病院間の連携、地域における医療と介護の連携を進めています。

このような中で、当院は、高度急性期、高度先端、高度救命救急、専門外来などの医療をおこなう特定機能病院としての役割を果たしていく必要があります。

そのため、今まで以上に、かかりつけ医や各地域の医療機関からの紹介割合を増加させるとともに、救急や手術などの急性期治療が終了した後の療養先へ円滑に移行するために、転院先医療機関の確保やかかりつけ医、在宅ケア機関とのさらなる連携を図っていく必要があります。

今後も当センターの機能強化を図り、医療機関や在宅ケア機関の皆様の期待に少しでも応えられる体制にしていきたいと考えておりますので、積極的なご利用をお願いいたします。



医療連携センター長
三國 信啓

トピックス 札幌医科大学附属病院の施設整備について



(西16丁目街区 全体イメージ [右手前が増築棟])

現在、増築棟（西病棟）の建設が平成30年3月完成の予定で進められています。

この増築棟（西病棟）は地下1階、地上10階建てで、既存病院と各階で連結され、プライバシーに配慮した4床室や個室の整備などにより入院患者様のアメニティの向上を図るほか、各種リハビリテーション施設や管理部門などを設置する予定です。

1階は、30床の外来化学療法室のほか、医事相談センターなど各種手続きや相談窓口を集中配置することで、患者様の一連の手続きがワンフロアで済むように配慮し、エレベーターを増やすことで混雑緩和を図るなど利便性を向上させる予定です。

2階には、治療外来4室などを含めた治験センターと、病院長室や病院課などの管理部門を設置します。

3階は、理学療法室、作業療法室、診察室などのリハビリテーション部門とする予定です。

4～9階は、各診療科の病棟で、6階の産科周産期科、婦人科はNICU（新生児集中治療管理室）とGCU（新生児回復治療室）をそれぞれ12床整備します。

それ以外のフロアは、個室と4床室をそれぞれ6室ずつ設けます。4床室の2室に1ヶ所の割合でトイレを配置します。

また、家具間仕切りで患者様のプライバシーに配慮した個人スペースを確保するとともに、冷暖房の切替は病室毎に、空調風量はベッド毎に調整できるなど、大幅に療養環境の向上を図る予定です。

なお、増築棟完成後は、既存棟の改修に移行し、診療・療養環境の向上を図るとともに、手術部、ICU等の整備・拡充を行い、さらなる高度な先進的医療の推進に努めていきます。



(外来化学療法室イメージ)



(NICUイメージ)



(エレベーターホール付近イメージ)



(デイルームイメージ)



(廊下、ナースステーション付近イメージ)

栄養管理センターからのお知らせ

NST回診及びカンファレンスの見学受入れのご案内

NST（栄養サポートチーム）は平成17年から活動を開始し、多職種との連携を図りながら積極的にチーム医療を推進しています。

NSTでは回診及びカンファレンスへの見学の受け入れを随時行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

- (1) 回診日：毎週水曜日・金曜日 料金：無料
- (2) 時間：13～16時（カンファレンスのみの場合は13～14時）

【申込み及び問合せ先】 栄養管理センター 担当：石原

TEL (011) 611-2111 (内線5153)

E-mail ishihara.etsuna@sapmed.ac.jp



第1回全国病院レシピコンテスト 金賞受賞

平成28年3月25日に開催されました、第1回全国病院レシピコンテスト（乳和食部門）にて、考案したレシピが金賞を受賞しました。また、この他にも生活習慣部門や低カロリースイーツ部門において銀賞など7レシピが受賞しました。

金賞受賞

- ・ミルクだしの
ふわふわ海老しんじょ
- ・高野豆腐の豚巻くわ焼き
- ・トマトのみぞれ和え



北海道におけるてんかんセンターの取組について

●脳神経外科学講座

てんかんは、生活面・社会面に影響を及ぼし、治療も内科的、外科的に両方を含むため、様々な側面を考慮に入れながら必要な治療を行う必要があります。当院では、脳神経外科のてんかん専門医3名を含み、神経内科、神経科学講座、リハビリ科、小児科など合計6名のてんかん専門医を中心に複数科の専門家が治療法を議論し、単一科に偏らない包括的治療やリハビリテーション医療を提供しています。脳神経外科では年間約70-80名のてんかん患者さんの入院を受け入れ、そのうちおよそ半数に長時間ビデオ脳波モニタリングを行って、てんかん発作時の映像と脳波の記録を行い、正確な診断と治療方針の決定を行っています。その結果をもとにして年間約40-50件のてんかん外科手術を行っています。北海道は広大な面積に比し、てんかんの専門的治療を行う施設は限られています。当科では、遠方の患者さんでも治療が受けられるよう、札幌市内はもちろん、釧路市立病院、留萌セントラルクリニック、王子総合病院などの関連病院に医師を派遣し、各病院でてんかん外来を開いて治療にあたり、必要に応じて当院で治療が受けられる体制を作っております。新たな医療連携としてお気軽にご相談ください。



世界てんかんデーに 合同カンファレンスの皆様と記念撮影

窓口：脳機能センター専用 E-mail

noukinou@sapmed.ac.jp

INFORMATION

医療連携センターでは、地域の医療機関等との連携や特定機能病院としての高度な急性期医療など、良質で満足度の高い医療サービスの提供や連携体制の推進に努めています。

新患の外来診療予約について

1. 連絡先

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）電話：011-688-9514 FAX：011-621-2233

2. 予約の申し込み

- ・専用の「新患外来診療予約申込書」を記入の上、**FAX**でお申し込みください。専用の書式は当院のホームページからダウンロードできます。（お電話いただければFAXで様式をお送りします）
- ・FAXの受付時間は9：00～12：00、13：00～16：00です。
- ・患者さんご本人からの申し込みは受け付けておりません（臨床遺伝外来、神経精神科を除く）。
- ・患者さんが貴医療機関でお待ちの場合は15分以内を目途にFAXで予約票をお送りします。（医師指定の場合などは回答に時間がかかる場合がありますのでご了承ください）
- ・貴医療機関から患者さんへ予約票をお渡しください。

3. 受診受付

- ・患者さんは、予約票、保険証、診療情報提供書などをお持ちの上、予約時間の15分前までに新患受付5番窓口で受け付けし、外来でお待ちください。

新患外来診療予約のウェブサイト <http://web.sapmed.ac.jp/hospital/medical/mumhv60000002zmz.html>

（注意事項）

1. 初診料加算について

当院は特定機能病院であるため、初診の患者さんで他の病院等からの紹介状をお持ちではない場合は、初診料とは別に保険適用外の**初診時一部負担金（5,400円）**をご負担いただいております。臨床遺伝外来、神経精神科以外は予約なしでの受診もできますが、待ち時間軽減のためにも医療機関からの予約申し込みをおすすめします。

2. 当院へのご紹介について

患者さんの中には、いくつも病院にかかっているので札幌医大病院にまとめたいという要望もあるようですが、高度な急性期医療機関であることをご理解いただき、まずはかかりつけ医で対応いただけますようご協力お願いします。

3. 再来診療について

同じ診療科で1年以内に受診歴がある場合は「新患予約」の扱いになりませんので、14：00～15：30までに各診療科外来にお問い合わせください。（代表番号011-611-2111）

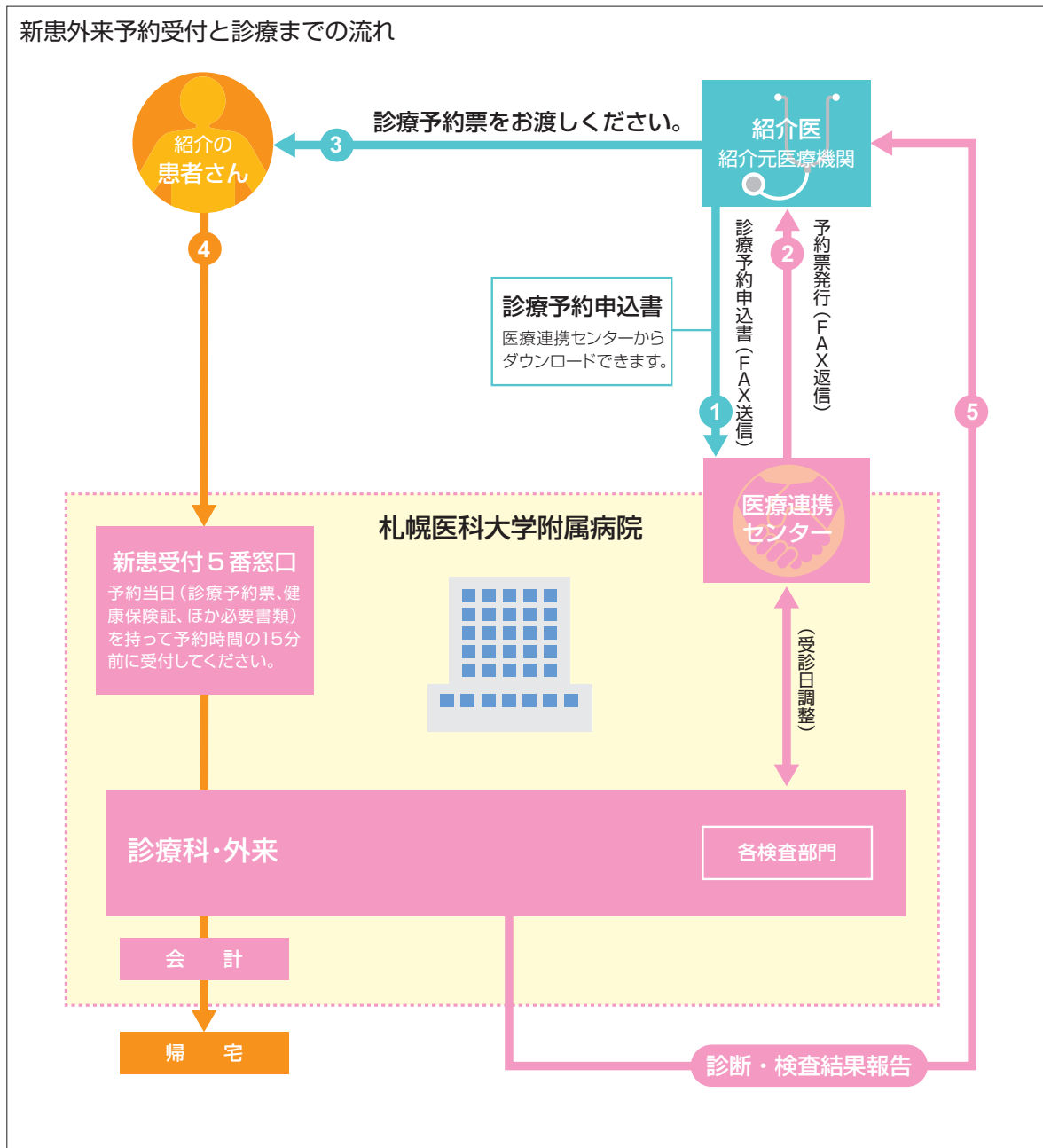
4. 入院の依頼について

入院の依頼は、直接、主治医から各該当診療科の病棟医長あてにご相談願います。

5. 神経精神科の予約について（患者さん個人からの予約です）

- ◇新患受診：月曜日から金曜日（祝祭日を除く）の14：00から16：00までに代表電話 011-611-2111内線3533（神経精神科外来）に電話で予約してください。
- ◇もの忘れ外来：月曜日（祝祭日を除く）の15：00から15：45までに、専用電話番号 011-611-3004に電話で予約してください。なお、かかりつけの病院またはクリニックからの紹介状が必要となります。
- ◇GIDクリニック（性同一性障害専門外来）：初めての受診は予約が必要です。予約の方法は当院ホームページ（トップページのお知らせ欄）で確認してください。

新患外来予約受付と診療までの流れ



○セカンドオピニオン外来について

当院では、セカンドオピニオン（第二の意見）を求める患者さんやそのご家族に対して、既に診療を受けている医療機関からの紹介状と必要な資料に基づき、当院の医師から参考となる意見や判断を提供するセカンドオピニオン外来を開設しております。

◇ご用意いただくもの：主治医からの紹介状・画像・検査資料・相談同意書（ご家族だけで面談の場合）等

◇料 金：1回 60分以内 21,600円（消費税込）

◇申込方法：当院申込書にご記入のうえ、FAXでお申込ください。

（申込書は当院ホームページからもダウンロードできます。）

申込書を提出された方へご連絡後、日程を決定し、各診療科外来にてご相談をお受けします。

セカンドオピニオン外来のウェブサイト <http://web.sapmed.ac.jp/hospital/guide/mumhv60000002omq.html>

担当 医療連携係：011-611-2111 内線5123、3132

退院支援業務について

退院支援係では3名の退院調整看護師と1名の社会福祉士で、在宅療養への移行や継続、転院等がスムーズにおこなえるように患者さんやご家族と相談しながら支援をしており、平成27年度は2,170件の調整をおこないました。

病床の機能分化が進む中、超高度急性期を担う当院は、高度な医療を受けながら安全な在宅環境を迅速に整える必要があり、訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所等の在宅機関との連携をさらに密にしていくことが今後の重要課題です。また、特定機能病院としての役割を十分に果たすためにも、適切な時期に急性期・回復期・慢性期それぞれの医療機関との双方向で良好な関係を構築できるよう連携強化にも努めていかなくてはならないと考えています。



札幌医科大学附属病院医療連携センターのホームページをご覧ください。

URL

<http://web.sapmed.ac.jp/hospital/mpc/>



編集後記

春から初夏への移ろいの中、当院の前の遊歩道はやわらかな緑の若葉がまぶしい季節となりました。さて、何度かの組織改編の後「医療連携センター」としてスタートして2年目、医療連携係が担当する当院への新患外来予約の件数も1年に500件ずつとうなぎ登りに増えています。また、当院からかかりつけ医への紹介予約業務も増えてきており、医療機関の方から「どこにかけたら良いかわからないのですが～」とお電話で問い合わせをいただくなどたくさんの方々との連携させていただく機会も多くなりました。今後も、「ていねいに」、「わかりやすく」、「迅速に」を心がけ地域の医療機関の皆様との連携をさらに深めていければ幸いです。

医療連携係 今西いく恵



札幌医科大学附属病院 医療連携センター

医療連携係 (内線5121、5123、3132)、退院支援係 (内線3193、5126、5127、5125)
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
TEL : 011-611-2111 (代表) FAX : 011-621-2233